

第5回なかい戦略みらい会議議事録

日 時	2016年2月2日(火) 13:30~15:30
出席者	資料参照、アルパック:3名
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p>1) 中井町人口ビジョン素案について(資料1)</p> <p>2) 中井町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について(資料2、2-1)</p> <p>3) 地方創生加速化交付金の活用について(資料3)</p> <p>4 その他</p>
議 事	<p>●座長、○委員、◎事務局</p> <p>1 開会</p> <p>事務局 ◎権守企画課長より開会のあいさつ</p> <p>2 座長あいさつ</p> <p>座長 ●杉本座長より挨拶</p> <p>3 協議事項</p> <p>協議事項(1) パブリックコメント実施結果について</p> <p>・資料1にもとづき事務局より説明、および協議</p> <p>【パブリックコメント実施結果について】</p> <p>◎平成27年12月24日~平成28年1月14日の22日間にわたり、素案に対する意見の募集としてパブリックコメントを実施。意見の提出方法は郵送、ファックス、電子メール、持参という形をとり、1人の方から意見があった。意見については資料1別表を参照。</p> <p>◎対応については、資料1に示している対応区分の中の「D:内容に関する感想等その他のもの」とした点について、委員の皆さまよりご意見をいただきたい。</p> <p>【協議】</p> <p>※意見なし</p> <p>協議事項(2) 中井町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について</p> <p>・資料2、2-1にもとづき事務局より説明、および協議</p> <p>【中井町まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について】</p> <p>◎目次、基本的戦略3について名称変更、妊娠から安心感を与えることができるようにと考え、名称を変更。これに関連して概要の記載も変更。</p> <p>◎概要の基本的戦略3のプロジェクト2については、中井の暮らしを応援することでふるさと回帰などを促進していけるように、里まちくらし応援隊事業と名称を変更。</p> <p>◎基本的戦略1の基本目標の数値を追加。</p> <p>◎基本的戦略1のプロジェクト1について、一文を追加。それに伴い、里まちスポーツ・プチツーリズム事業、里まちスポーツの町事業の内容も変更。</p> <p>◎基本的戦略3については、名称変更に伴い基本的方向性に妊娠を加えた。</p>

	<p>◎基本的戦略4のPR対象はより身近な地域として、町内外と変更。</p> <p>◎資料2-2については、町が具体的に行う事業を提示。素案に基づき変更。各事業ともに年度毎に実施目標を掲げ、それに基づいて施策を実施予定。</p>
	<p>【協議】</p>
座長	●未病を治すというのはどういうことになるのでしょうか
吉田委員	○神奈川県で昨年度から取り組んでいるプロジェクトで、「未病」とは、健康と病気の中のちょっと調子が悪いといった状態のことで、それを県西地域の様々な資源を使って心身ともに健康な状態にすることを「未病を治す」ということになる。
瀬戸委員	○資料2の10ページに未病センター利用者数とありますが、この未病センターとはどういうものですか。
事務局	◎本年2月6日に中井町の健康づくりステーションというものが開設されます。未病を治す取り組みを展開していくなかで、未病センターの認定を受けて未病センターとしての活動を図っていくということで、未病センター利用者数という表記とさせていただきました。
瀬戸委員	○中井町にそうしたハコモノを作るといいますか。
事務局	◎保健福祉センターを改築、改修いたしまして、ある程度運動などができるスペースがありますので、そこに健康器具や健康機器などを設置し、保健師等も配置し、中井町健康づくりステーションとして開設し、それを未病センターとして認定して頂くようにしていくということです。
	○基本的戦略2の基本目標の中にある、交流人口と転入者の目標値、基準値がありますが、転入者の目標に440人（年間）とあり、交流人口とは考え方が違うということなののでしょうか。
事務局	◎交流人口については、実際に人数を把握しているのが中央公園の利用者数をカウントしたものを交流人口としています。
瀬戸委員	○目標値は31年度の年間の数値ということでもいいのでしょうか。
事務局	◎そうです。
瀬戸委員	○基本的戦略3の基本目標にある、子ども出生数についてですが、年5人増加とありますが、現況値は43人となっているのですがどのような意味でしょうか。
事務局	◎現況は1年間で43人ですが、これは年毎に5人ずつ増やしていきたいという意味合いです。
河井委員	○平成31年には何人と計算されていますか。
事務局	◎70人程度になると思います。
河井委員	○平成31年だけ急に70人にするというのではなく、その間も毎年5人ずつ増やしていきたいということですか。
事務局	◎そうです
河井委員	○「妊娠・出産・子育て戦略」という言葉はしっくりきません。これは「妊娠・出産・子育て環境の充実戦略」というような意味ですよね。目次からみると、地域活性化促進戦略などはわかりませんが、子育て戦略とか出産戦略を言葉として、一般的に行政が使うことが良くわかりません。妊娠戦略を行政がするのでしょうか。安心して妊娠できる環境を整備するということだと思いますが、違和感があります
座長	●事業の方ではネウボラと書かれていますから、それをそのまま使っても良いのではないのでしょうか。他のところではもう書いているところもあります。
事務局	◎今事業としてあげているものが、ネウボラとは言えない部分があり考えています。ネウボラという言葉はもう少し総合的な意味として、生まれてから大きくなるまで一貫したデータがあり、誰かが一貫して相談に乗るといった仕組みになります。そこまでのことを提案事業では想定していないので、検討しているところです。

<p>座長 河井委員</p>	<p>●確かに現時点の表現は直接的すぎるかもしれません。</p> <p>○基本的な方向性として書かれているのは、妊娠、出産、子育て環境の充実ということであれば、充実するために行政が音頭をとりつつ、民間や市民の方と連携して環境を充実させるということだと思うので、無理やり妊娠させるとか出産させるというような意味にとれる表現は戦争中ではないので、印象としてはどうなのかと思います。ただ、本来の意味は環境を充実させるということだというのであれば、強く反対しませんが、産めよ増やせよ的な印象がストレートに出ている印象でした。</p>
<p>座長 小清水委員</p>	<p>●女性の方はどうでしょうか、抵抗ありますか。</p> <p>○今は妊娠できない方もいらっしゃるの、直接的な言葉として出すのはどうかという思いはあります。戦略という文字だけでも強そうなイメージですので、環境づくりであったり、応援するというような柔らかい印象があったほうが受け入れやすいのではないかと思います。また、ネウボラという言葉自体が浸透していないので、もう少しわかりやすい言葉が良いのではないかと思います。</p>
<p>座長</p>	<p>●表紙とタイトルですが、これでは内閣府のタイトルそのまま、「里まち」という言葉をアピールしているのですから、「なかい里まちまちづくり戦略」とか「里まち」とはどういうことなのかという理念的なものを書かないと、里まちのことが伝わらないと思います。町長さんも外に出て話そうとしたときに話にくいと思います。基本的な考えのところが説明的で思いが書かれていないと思います。</p>
<p>宗形氏</p>	<p>○みなさんの意見を聞いていて、言葉尻がとてもデリケートな時代になってきていると思います。戦略とか、競争、戦うとかこうした言葉は出来れば避けていけるような工夫をしたら、なんだこれは、と思ってもらえるようなところがあるのではないかと思います。何か中井らしさを伝えられる言葉が他にあるように思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>◎今頂いたご意見を踏まえて、検討いたします。策定にあたりましては、成果物を配布いたしますので、ご確認頂けたらと思います。</p>
<p>河井委員</p>	<p>○まちひとしごと自体は、どの町も実際には国のものを使っていると思います。独自性を出したければ良いと思いますが、これが何かに影響するかといえばそうとは言えないと思います。国としては中身に書かれていることが、国としてやろうとしていることに合っているのかというところが大切になりますし、交付金で10分の10を頑張っているところに出すということが重要になってくると思います。言葉というのも大切ですが、10分の10取れる事業をどう組み立てるのかという発想も必要だと思います。ただ、座長もおっしゃったように「里まち」という言葉は一般的に使う言葉ではないので、それが何を意味するかをどこかに書かないと町民の方も理解できないと思います。パブコメも1件しか来ないというのは、どこもそうですが興味がないということです。町民がまち・ひと・しごと創生総合戦略をなんだろうとか、これに基づいて何かやりたいと思ってもらうための方向性はここにほぼないので、本来タイトルを変えるのであれば、町民の方にどんな名前がよいかを聞くとか、せつかくの「里まち」という言葉をみんなにしっかり知らせ、うちの町は「里まち」だよねと思ってもらうための戦略を明確にしていかないと、町民にとっては知らないうちにこうしたものが決まって、自分に関わるものが実はこの中に入っていて知らなかったというようなパターンになるのは、怖いと思います。町民の方がここで書かれているものが自分の問題だと思ってもらえるためのことを、積極的にやって頂ければ良いと思います。パブリックコメントが1件しかないという点については、もう少し課題だと認識されたほうが良いと思います。</p>
<p>座長</p>	<p>●総合計画のタイトルをつけたほうが良いと言っているのは、今年の夏に10分の10ではないのですが、新しい交付金制度ができます。3年間連続して出てくるもので、今まで日本にはなく最大</p>

	<p>2億、3年間で6億になります。これに応募するにはまた申請書が必要になりますが、その時になって作ると間に合いません。こうしたものも視野に入れて、総合戦略が作られていないと交付金を取れませんので、ご意見を頂いて新しい交付金の申請にも出せるようにしていきたいと思えます。</p>
事務局	<p>◎今お話しにあった新型交付金については、平成28年度からになりますが、こちらも総合戦略に位置付けられた事業全般というものが対象になっています。客観的なデータに基づく、既存事業の実績評価に基づいた事業設計、PDCAサイクルの整備・運営などが必要となっており、先駆性ということと自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成などが重要なポイントとなっています。先駆タイプでは自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携が必須となっており、横展開タイプでは自立性に加えて官民協働、地域間連携、政策間連携が必須となっています。先駆タイプでは事業期間5か年度以内、1事業あたりの事業費は市町村では事業ベースで2億円が上限となっています。横展開タイプは事業期間は3か年度以内、事業費は市町村では事業ベースで5,000万円が上限となっています。申請事業については加速化交付金同様、市町村については2事業までということになっていますので、総合戦略に掲げられた事業をうまく提案していかなければ推進できないということになっています。</p>
座長	<p>●新型交付金は表向きは2分の1ということになっていますが、内閣府としては残りの半分も交付金を出さずという話もあります。しかし、交付金の支給が終わってからも自立して継続できる仕組みにしていかなければならないと思います。そうしたことも踏まえて事業を見ていく必要があるかと思えます。</p> <p>今日いただいた意見を反映して、後は個別に事業内容を詰めて行っていただければと思います。</p>
	<p>協議事項（3）地方創生加速化交付金の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3にもとづき事務局より説明、および協議
事務局	<p>【協議】</p> <p>◎一部補足説明ですが、地元で自ら起業化することを含めて積極的に動いていただくことが一つのポイントかと思えます。町民ワークショップに参加された方の中には、色々な才能を持った方がいらして、他の地域でやっているが中井町ではやっていないという方もいらっしゃるようなので、そういう方の色々な力を使えば、ネットワークで地元の力を相当発揮できるのではないかという感触を得ています。可能であればそうした町民の方々を探すことも早急にやっていかなければならないと思います。当然公募なども必要だと思いますが、雰囲気盛り上げることもやっていきたいと思っています。</p>
瀬戸委員 座長	<p>○ブランドの方ですが、これは全く新規でなければならないのでしょうか。</p> <p>●ゼロから作る必要はないと思います。</p>
瀬戸委員	<p>○適切かわかりませんが、粉屋さんはある意味有名なところですし、陶芸家の方もいらっしゃるし、そうした既存のもので考えてみることもできると思います。</p>
事務局	<p>◎ここで提案させて頂いているのは、地元では有名でもすぐに販売促進をしていくために、もう少しこれが中井ブランドだというパッケージを含めて作っていかなければ、ここでいうブランドにならないと思っています。</p>
瀬戸委員 座長	<p>○きっかけは、もうあると思います。</p> <p>●以前から話が出ているのように、多品種でたくさん色々なものができる、というイメージがブランドになるのではないかと思います。一つに絞っていくのではなく、ここはこれだけ豊かな農産</p>

<p>瀬戸委員</p> <p>事務局</p> <p>座長</p> <p>眞壁委員</p> <p>河井委員</p> <p>眞壁委員</p> <p>河井委員</p> <p>眞壁委員</p> <p>河井委員</p> <p>座長</p> <p>河井委員</p> <p>眞壁委員</p>	<p>物があるんだということの中井のブランドにしていくことが出来ると思います。</p> <p>○里まちスポーツで施設を作ろうという話ですが、運営とか従業員の採算とかはどう見ているのでしょうか。</p> <p>◎当面は町から負担せざるを得なくなると思いますが、里まち総合型地域スポーツクラブという組織を立ち上げた中で民間主導で行い、スポーツクラブの年会費やスポーツ教室の参加費などからの自主活動の中で、採算を合わせて運営していただきたいと思います</p> <p>●慎重な事業計画が必要だと思えます。一つの方法は、この出身の方たちを活かして地域納税などで資金を確保していく方法もあります。</p> <p>○やり方の問題もあり、公園は利用時間帯で利用率に差があります。すきまをうまく活用してコストを下げる必要があります。公園利用については町民が優先ということになりますが、外から来る人も将来的に中井町への定住につなげていくということを考えるのであれば、そうした可能性のある人達を優遇することも考えられます。外から来た人は「外貨」を落としてくれるので、町の経済という面でも効果があります。チャンスを捉えるには町行政のレスポンスの速さが重要になると思います。</p> <p>○500 円でもオンしたいという風に運営側が思うためにはどうしたらよいのでしょうか。行政がやっている場合には、500 円オンするより、仕事が増えないようににもしないということが選択されそうな気がします。500 円でも増やしたいと思わせるインセンティブはどの辺りにあるのでしょうか。</p> <p>○500 円を払っても良いと思う人を増やすということですか。</p> <p>○空いている時間があればそれを少しでも埋めるような努力をして、できるだけ赤字を減らす、黒字を増やすというような明確なインセンティブがないと、ただお願いしますというだけでは動かないと思うのですが、何か事例やお考えがあればお聞かせいただきたいです。</p> <p>○平等に情報を出すということが一番いいのですが、フェアと平等は違うと考えています。平等に情報を出すことに経費を使って倒れてしまっは意味がないので、ニーズのある人に優先的に情報を出すということも必要です。来てもらうためにニーズに合わせ調整をし、来てもらい価値を感じていただく。他では同じことが出来ないということも重要です。成功した例では、平塚海岸でやっているオーシャンスイミング教室というのがあります。海の水泳教室です。今では口コミで広がり、千葉や茨城からも参加者が来るそうです。里山スポーツでも近隣の地権者の方に合意を頂いて、野山を使ったスポーツなどに取り組むことが中井ならできると思います。</p> <p>○オリジナリティがしっかりあり、それを支える専門性と環境整備が中井町にあれば、場合によっては関東一円から外貨を稼ぐ可能性が十分あるということですね。</p> <p>●静岡県の小山町はフィルムコミッションがすごいそうです。東京からのアクセスも良いという面もありますが、職員一人で素晴らしい対応をしていて、一日だいたい5つくらいの撮影が入っていて、ものすごいお金を稼いでいます。</p> <p>○面白いのは小山町さんは人口は急減しています。ただ、外貨をしっかり稼いで人口減を押しとどめるというようなレベルで考える考え方もあります。オリジナリティをしっかり持って、外貨を稼ぎながら、どのように人口減少を抑制するのかを明確にしなければ、お金を稼いでも人口は減ってしまいます。中井町についても、特性をしっかりと踏まえて、的を絞って対策を打ってかないと人口減少の歯止めはかからないと思います。そうした発想は今回の計画で出そうとされていると思うので、それをしっかりやっていくといいと思います。</p> <p>○外貨を稼ぐということからすると、中央公園の最大のポテンシャルは東京から近いということにあります。先程の平塚のオーシャンスイミングも、駅から歩いて行ける、帰りに飲んで帰れるという利便性があります。地元の人が気がついていないそうしたポテンシャルを活かしていくこと</p>
--	---

	が必要です。
座長	●ふるさと納税の品物は、農産品だけに行き過ぎている傾向がありますが、生鮮品は腐りますから、アイスクリームなどの引換券のようなものでも良いと思います。
大塚委員	○戦略の中でどれを1番の売りにするかを明確にしなければ、なかなかイメージが伝わらないと思います。
事務局	◎いくつかアイディアはありますが、まだ纏められていません。
座長	●スポーツについては何かありますか。
眞壁委員	○サッカーはどこでもやっているの、中井であれば野山を使ったものなどがいいのではないかな。しまなみ海道では景色を楽しむサイクリングということで人気が出た。
宗像氏	○自転車をやっている人たちには、中井～大井は知る人ぞ知るメッカらしいです。自転車をやる人たちのメッカなのであれば、これは活用したらいいと思います
事務局	◎町民ワークショップの中でも、やっている方がいました。
宗形氏	○総合戦略案にもとづいて、最終的に加速化交付金の事業に落ち着いたということの理解でいいのでしょうか。
事務局	◎5か年をかけて総合戦略全体を行いたいということです。そのうちの2つの事業について、1年間、加速化交付金という補助金がもらえるということで、可能で効果が高そうなものを選んでるのが加速化交付金の資料になります。
座長	●総合戦略については、補助金を出す、出さないを審査されますので必ずしも補助金がもらえるわけではありません。
眞壁委員	○加速化交付金対象事業の達成状況のレビューについてどうなるのでしょうか。
事務局	◎KPIは加速化交付金についても出していきます。それに基づいて28年度の評価を行うことになります。28年度70%しかできなかった場合に、できなかった分の補助金を返せというような詳しいことは国からは来ていませんが、通常であれば使わなかった分は返還ということになると思います。
眞壁委員	○総合型地域スポーツクラブの運営の委託などでは、何年かに一度、きちんと運営しているかどうかチェックに来ますが、そういうことが行われるということのなんでしょうか。
事務局	◎そういうことではないと思います。
事務局	◎KPIを達成できないことによる罰則は表向きはないと聞いています。
座長	●計算式がありますので、交付税が減っていく可能性はあるかもしれません。
	協議事項（４）その他
事務局	◎今回をもちまして、なかい戦略みらい会議としては締めさせていただきます。
事務局	◎総合戦略素案の取り組みの考え方にもある通り、検証機関として「なかい戦略みらい会議」が位置付けられているので、検証を年度毎に実施したいと考えています。検証時期になりましたら改めて開催し、ご協力を頂きたいと考えています。時期としては来年の2～3月頃を予定していますので、ご承知おき頂きたいと思います。
事務局	◎総合計画と総合戦略の策定に関して、中井まちづくりカフェで活発なご議論を頂いており、戦略みらい会議にもそのメンバーにご参加いただいています。そちらにも機会があればご参加頂き、ご意見やご提案を頂きたいと考えています。
瀬戸委員	○中井町のホスピスで研修を受けたときに中井町からのボランティア参加の人がいなかったということと、今回そこが閉鎖すると聞いていますが、その点についてどうにかならないのかと思っています。

副町長 事務局	<p>○ホスピスについては、28年度4月から再開することになったということです。</p> <p>◎先程、戦略の検証についてお願いをいたしました。今後、中間報告もやっていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
------------	---